

日本を支える中小企業

分社

代取会会報

《発行責任者》
 株式会社分社経営研究所
 代表取締役社長 酒井 邦恭
 《編集責任者》
 分社グループ代取会
 〒104-0061
 東京都中央区銀座6丁目12番1号
 TEL 03-3574-9542
 会長：佐々木弘人
 副会長：竹田 誠
 発行担当者：吉田寿子

日本の産業の将来は中小企業にかかっている

株式会社分社経営研究所
 代表取締役社長
 酒井 邦恭



日本の国は日本人によって構成されている。
 日本の産業は明治開国の時に作った製鉄所、造船所などのいくつかの基本的産業の他はすべて中小企業（個人）がその根本になっている。
 大企業といわれる会社もすべて中小企業が始まりで、三菱、住友、三井、古河などをはじめ、現在のトヨタ、ソニー、ホンダ、松下等々すべて中小企業が大きくなったのである。

始めた仕事が生きていくか、人を増やしたのである。
 「人は何の仕事をして生きていくか」これが人にとって一番重要なことなのに、日本人はあまり関心がない。
 どういうわけか、よい学校を出て、大きい組織、大きい会社に入る事が良いと思っっている。

「私を使ってください」という人間ばかり多い。人を使う人間はまことに少ない。
 これが日本人の大部分の人の常識だから、大変なことである。
 日本人は特に指摘されなければ自分から競争をしない。じつとしている人種である。

大きな会社も人で出来ているのだが困ったことに学歴の良い弱い人ばかり、格好の良い人ばかり採用して長年月やって来たから弱虫人間の団体になっている。
 大きい会社では何をやるにもなかなか決まらない。時間ばかりかかる。大きい会社で、新しいことをやるのは難しい。

世界中が競争になった時代だから、どれほど大きな会社でもその会社自体の地位が沈んで行く。
 自分の会社は大きいと思っいてこれに気付かない。
 こうなると大きな会社でもその会社自体の地位が沈んで行く。
 自分の会社は大きいと思っいてこれに気付かない。
 こうなると大きな会社の命運は先行が暗い。
 その会社にいる人達は平気で自分の船が沈んでいくのがわからず、毎日を過ごしている。

日本の国を支えているのは中小企業で大企業ではない。

国家が企業に出すお金は大企業はただ食って無くなってしまっただけだから、生かして使う中小企業に出すべきである。
 すでに大きくなった企業に出すのは削減すべきである。

人は学歴を競うよりも、人生何をやるか一生かけて何をやるかそれを考えるべきである。

大きい会社に入って「おめでとう」と言われても六十歳にならないうちに出されてしまう。
 死ぬまでの時間は長い、二十年も三十年もある。

自分でやることを持つことはどれほど有難いことか。
 人にあれやっつて、これやれで使われることがいかにつまらぬ事かを知るべきである。

代取会よりお知らせ

左記のとおり、社名変更がございましてお知らせします。

株式会社つるかめ総合ケア

【新社名】

フォレスト総合ケア株式会社



会社紹介

大きくならない
自由を選んだ

前号で、グループ各社の経営目標を掲載いたしました。今回は、皆様により多く、グループ各社を知っていただくために会社紹介を始めます。

※注記
紹介は、設立年月日の順にさせていただきます。



大陽工業株式会社



大陽工業株式会社
代表取締役社長
酒井陽太

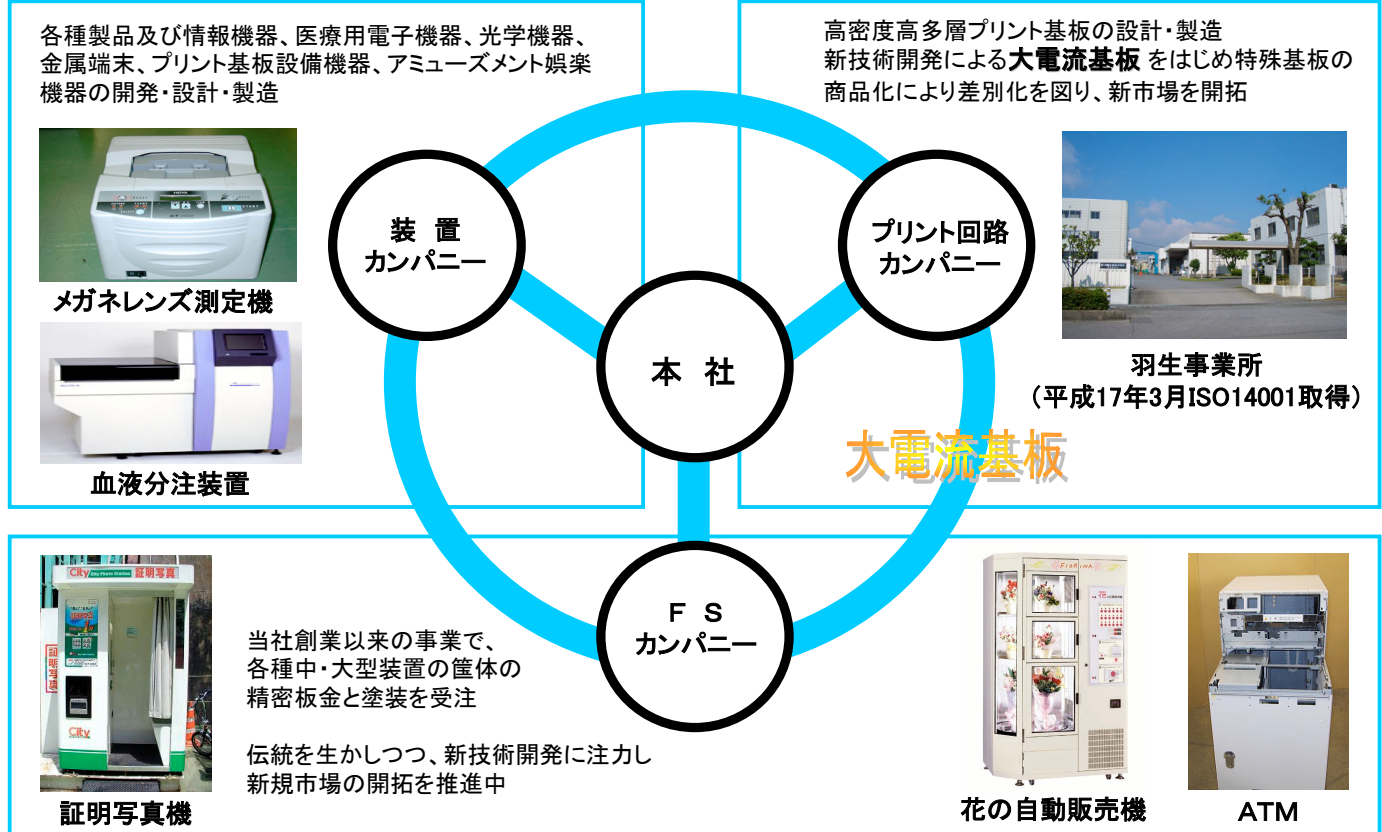
私たちが目指すもの
～新たな挑戦と創造～
創立六十周年に向けて

当社は二〇〇七年に創立六十周年を迎えます。新時代への挑戦をする経営のスピードアップを図り、変化する市場を先取りし、常に革新し続ける大陽工業を築きたいと思っています。具体的な指針として、次の三項目を推進していきます。

- 一、財務体質の改善
- 二、人材の確保と育成
- 三、社会的責任を重視した環境経営

また、新技術及び新製品の開発、サービスの高品質の追求にも注力し、お客様の信頼を高め、大陽工業の企業価値を高めていきたいと考えています。

【会社概要】
会社名 大陽工業株式会社
代表取締役 酒井陽太
設立 昭和二十二年八月十五日
資本金 三億円
本所 東京都品川区西五反田八ノ十二ノ二
事業所 八王子事業所、羽生事業所
従業員数 二八七名



3カンパニーの独自性を進化させると共に、各々の協働も進展させ、電子部品の製造のみならず、新時代に不可欠な最新装置の設計から板金、塗装、実装、製品仕上げまでを可能とする「トータルソリューションメーカー」を志向し、自社ブランド製品も含め顧客ニーズにスピーディーに対応し、また社会に貢献できる事業を展開していきます。

【売上高と経常利益】

